

和田山町初の名誉町民賞を贈呈

和田山町では、平成14年3月に施行した和田山町名誉町民条例に基づき、広く国内外で活躍し、その功績が町民の尊敬の的と仰がれる次の3人の皆さんに、町議会の同意を得て、3月5日の閉町記念式典の席上で、町が始まって以来初めてとなる名誉町民賞を贈呈しました。

▽内海 倫さん(林垣出身、元人事院総裁。)

▽日下寛治さん(林垣出身、木彫家。)

▽千種秀夫さん(芳賀野出身、元最高裁判所判事。)

なお、3人の皆さんには、朝来市においても「名誉市民」となっているだけであります。



左から内海さん、日下さん、千種さん

朝来町名誉町民淀井敏夫さんご逝去

朝来町名誉町民の淀井敏夫さんが、2月14日、お亡くなりになりました。

淀井さんは、明治44年、朝来町佐中でお生まれになり、幼少期を朝来で過ごされました。東京美術学校卒業後は、彫刻界でご活躍され、数々の賞を受賞。平成13年には、文化勲章も受章されました。朝来町は町の誇りとして平成7年に名誉町民第1号の称号を贈り、平成11年には、朝来町多々良木に淀井さんの作品を常設展示する「あさご芸術の森美術館」が完成しました。朝来市の誕生を目前に、お亡くなりになられたことは誠に残念でなりません。美術館では、6月以降、淀井さんとのお別れを惜しむイベントを開催する予定です。



功労に心からの感謝を込めて

徒会長の足立哲哉さん(和田山駅前)と新成人代表の梶原琴美さん(三波)、町議会副議長の坪内一由さん(枚田)が新市への提言や要望を発表し、式典を締めくくりました。

936人のランナーが

早春の山東路を快走

■第24回兵庫・山東ロードレース大会

二十四回目となる兵庫・山東ロードレース大会が三月二十日、梁瀬中学校を会場として、但馬地域はもとより全国各地からのランナーの参加を得て開催されました。山東ソーラン隊「舞」の華麗な演舞で幕を開けた今大会には、友好都市である西宮市から参加の中高生のほか、ゲストランナーとして松岡理恵さん(天満屋)、安藤真人さん(山陽特殊製鋼)、野村俊輔さん(中央大学)、須磨学園高校、県立西脇工業高校の招待選手にも



号砲と同時に勢いよくスタート!

参加いただき、大会に華を添えてもらいました。当日お世話になりました二百名を超える競技役員、ボランティアの皆さん、沿道でご声援をいただいた皆さんほか、関係者の皆さんに深く感謝申し上げます。

生野の郷の大自然に抱かれて

■グループホーム竹原野が完成

昨年九月から建設工事が進められていた「グループホーム竹原野」が完成し、三月二十二日、竣工式が行われました。

いくの喜楽苑に隣接し、渡り廊下で施設間を移動できるグループホーム竹原野は、平屋建ての北棟・南棟の二棟があり、それぞれ九戸ずつの個室に、合計十八名の方が入居し、スタッフと共同生活をしながら、認知症の緩和を促します。

入居者の方が安心して暮らしていただけることを最優先に、随所に細やかな配慮がされています。また、施設の運営は、いくの喜楽苑の介護経験豊かなスタッフが、入居者の『自立支援』を第一に、必要な手助けを行っています。



門から玄関へ続くアプローチ